

## 国際保健戦略の骨子（案）

### 1 厚生労働省として国際保健戦略を策定する趣旨・目的

- 厚生労働省の使命の実現
- 日本の知見の国際社会への還元

### 2 現状と課題

COVID19 を踏まえた課題、人類社会が直面する地球規模での複合的な課題、地政学的な状況 等

### 3 政策目標・基本方針

- グローバルヘルス・アーキテクチャーの構築、PPR（予防・備え・対応）の強化
- より強靱、より公平、かつより持続可能なユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の実現 等
- 厚生労働省の保健・医療・福祉の豊富な知見の海外共有と、国民生活や公衆衛生等の向上にも活かす好循環の確立

### 4 主な取組

- 「UHC ナレッジハブ」の創設
- 創薬基盤強化の国際戦略
- 国立健康危機管理研究機構（JIHS）と ASEAN 感染症対策センター（ACPHEED）との連携強化
- インド太平洋健康戦略の構築
  - ・ 「医薬品・医療機器等開発エコシステム」の展開
  - ・ 循環型高齢者保健戦略：介護の国際展開・外国人介護人材政策
  - ・ 外国医療人材の育成、医療インバウンドを含む医療の国際展開
- 経済安全保障としての医薬品の安定供給確保戦略
- WHO 等の国際機関や官民パートナーシップ等に対する適切な貢献
- 国際政策対話の推進
- 省内国際部門のガバナンス強化と国際保健人材戦略